

**TAMRON**  
Focus on the Future

## 株主通信

第78期 中間報告書  
(2024年1月1日~2024年6月30日)

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第78期上半期の営業概要について、ご報告申し上げます。

当上半期におきましては、依然として地政学リスクや中国の不動産市況等の低迷継続により、不透明感が続く状況となりましたが、総じて景気は緩やかな回復基調で推移しました。また大幅な円安基調も継続しました。

市場環境では、レンズ交換式カメラ、交換レンズ市場ともに、数量、金額ベースで成長しました。また、車載市場もADAS伸長により引き続き好調に推移しました。

当社においては、円安進行によるプラス影響もありましたが、すべてのセグメントにおいて2桁以上の増収増益を達成し、売上高は約1.4倍の増収、営業利益は約1.7倍の増益と大きな飛躍を遂げることができました。

上半期としては過去最高の売上高、利益を大幅に更新し、初の営業利益100億円を突破するに至りました。

### 配当金について

中間配当金につきましては、上半期業績、財務状況等を総合的に勘案し、前年に対し倍増となる35円増配の1株につき70円とさせていただきます。

通期におきましても、過去最高の売上高、利益の更新、かつ、2024年より新たにスタートした2026年を最終年度とする新中期経営計画「Value Creation26」にて掲げた目標の1年目での大幅な達成を目指し、グループ一丸となって邁進してまいります。

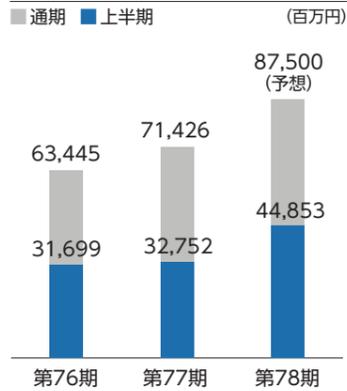
株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



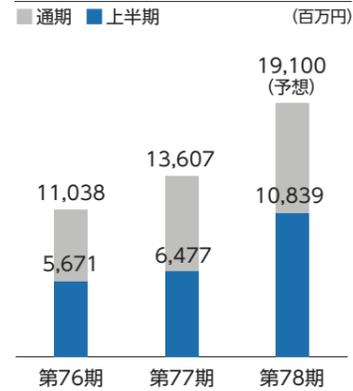
代表取締役社長 桜庭 省吾

2024年8月

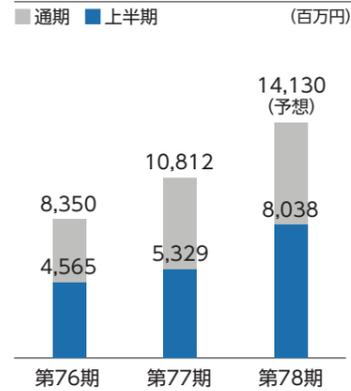
●売上高



●営業利益

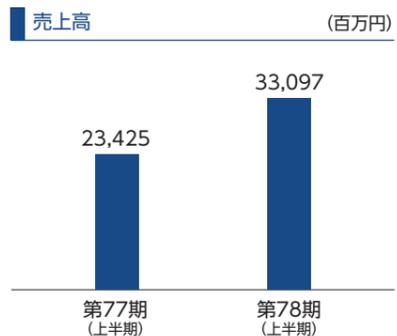


●親会社株主に帰属する当期(中間)純利益

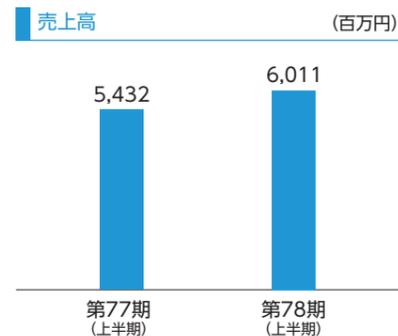


セグメント別事業の概況

写真関連事業



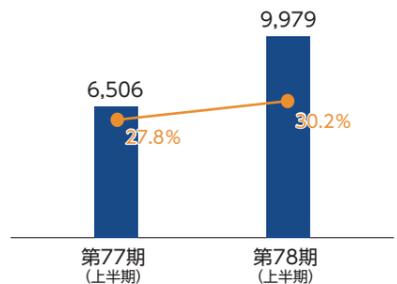
監視&FA関連事業



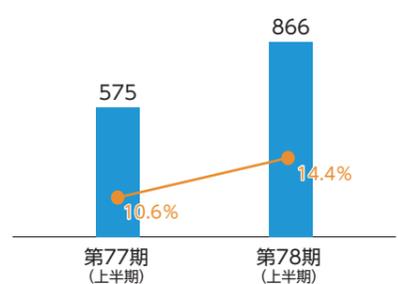
モビリティ&ヘルスケア、その他事業



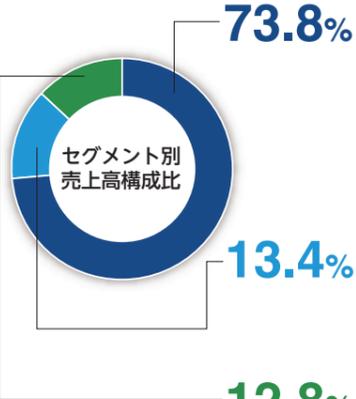
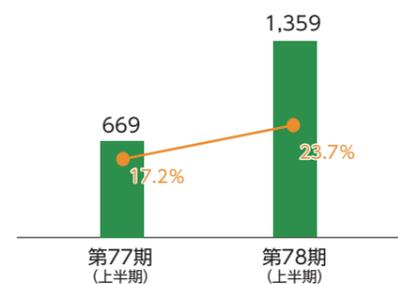
営業利益(百万円)/営業利益率



営業利益(百万円)/営業利益率



営業利益(百万円)/営業利益率



写真関連事業

自社ブランド製品は、2023年にソニーEマウント用2機種、ニコンZマウント用2機種、富士フィルムXマウント用1機種の計5機種の新製品を投入し、2024年4月には2021年にソニーEマウント用として発売以来人気の大口径標準ズームレンズ28-75mm F/2.8 VXD G2 (A063)のニコンZマウント用を発売しました。マウント展開を加速させ、ミラーレスカメラ用交換レンズのラインナップを拡充した効果等により、2桁の増収となりました。OEMにおいても、市場の堅調な推移に伴い、カメラメーカーへの交換レンズの供給が好調に推移し、約2倍の大幅増収となりました。  
このような結果、写真関連事業の売上高は330億97百万円(前年同期比41.3%増)、営業利益は99億79百万円(前年同期比53.4%増)となりました。

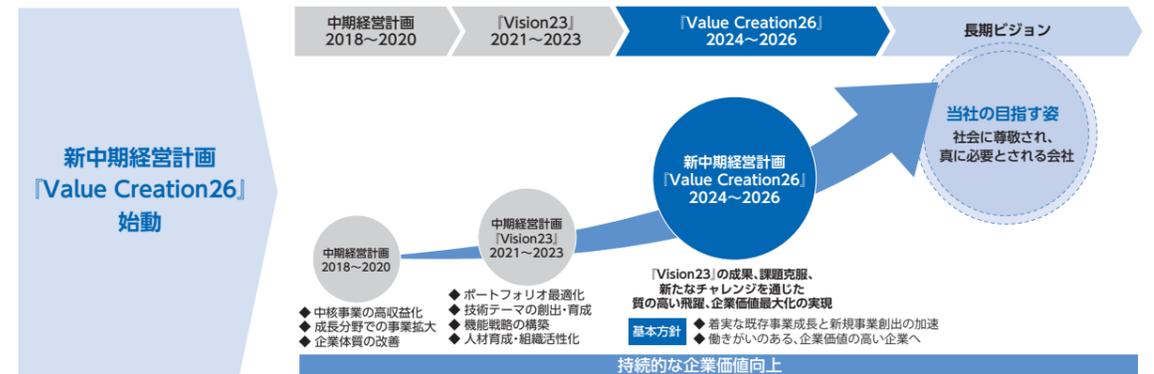
監視&FA関連事業

監視やFA/マシンビジョン用レンズは、FA分野では堅調な市場成長やラインナップ拡充により好調を維持しましたが、監視分野では、前年から引続き半導体不足緩和等に伴うカメラメーカーの在庫適正化の影響が一部残り、当社からのレンズ供給が伸び悩みました。カメラモジュールは2023年の新機種が売上貢献したことにより2倍以上の大幅増収となり、また、低迷していたTV会議用レンズも第1四半期での出荷増により前年同期並みを維持しました。  
このような結果、監視&FA関連事業の売上高は60億11百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は8億66百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

モビリティ&ヘルスケア、その他事業

車載カメラ用レンズは、急速に進む安全運転支援システム(ADAS)の普及による旺盛な需要を背景にセンシング用途を中心に好調を維持し約1.5倍の大幅増収となりました。また注力分野の医療用レンズも、当社の強みである極小径や薄膜技術で低侵襲を可能にする製品ラインナップの増加により2桁の増収を果たしました。コンパクトデジタルカメラ用やビデオカメラ用レンズも市場の回復もあり増収となりました。  
このような結果、モビリティ&ヘルスケア、その他事業の売上高は57億44百万円(前年同期比47.5%増)、営業利益は13億59百万円(前年同期比103.1%増)となりました。

Topic 1 「Value Creation26」の進捗状況



「Value Creation26」目標

- ◆ 高収益性・高効率性を維持しつつ、売上高・利益成長を実現  
当社初の売上800億円台、営業利益150億円以上を目指す
- ◆ 財務価値、事業規模を大きく上回る企業価値を創出

	2023年実績	2026年中期計画
売上高	714億円	830億円
営業利益	136億円	153億円
営業利益率	19.1%	18.4%

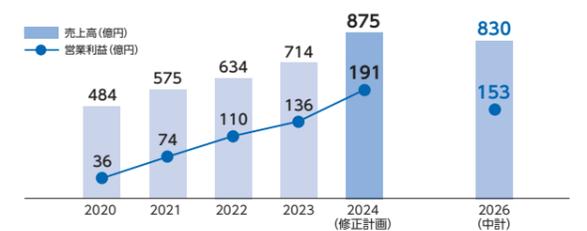
	2021~23年平均	2026年中期計画
EBITDA率	21%台	22%以上
ROE	13%台	14%以上
株主還元	配当性向30%台	総還元性向60%程度

\*為替前提 ドル=140円 ユーロ=152円

進捗状況

- ◆ 2024年上期は売上・利益ともに計画を上回って推移
- ◆ 上期での好調、下期の受注状況等により通期を上方修正  
⇒ 1年目にして26年中期経営計画を大幅達成見込み

	24年計画	24年計画
売上高	875億円	USD/JPY 148.69
営業利益	191億円	EUR/JPY 161.38
営業利益率	21.8%	



Topic 2 当社初となる「キヤノンRFマウント」用レンズの開発発表

当社のミラーレス一眼カメラ用レンズは、優れた光学性能と小型軽量を両立しており、高い評価を受けています。かねてよりキヤノンRFマウントにも対応してほしいというお客さまからの声を多数いただいております。APS-Cサイズミラーレス一眼カメラ用の大口径超広角ズームレンズ、「11-20mm F/2.8 Di III-A(\*1) RXD (Model B060)」をライセンス契約の下で開発・製造します。  
(\*1 Di III-A: APS-Cサイズ相当ミラーレス一眼カメラ専用レンズ。)



[https://www.tamron.com/jp/news/detail/b060f\\_20240423.html](https://www.tamron.com/jp/news/detail/b060f_20240423.html)



Topic 3 医療機器分野のベンチャーファンドに出資

医療分野において既存事業の更なる成長、拡大、新規事業の創出に繋げるべく、最先端技術・情報やビジネスモデルの入手を目的としてMedVenture Partners株式会社が組成するファンド「MPI-3号投資事業有限責任組合」へ出資参画しました。

Topic 4 自己株取得

株主還元の充実、資本効率の向上および機動的な資本政策の遂行を目的に、2024年2月9日~3月31日にかけて東京証券取引所における市場買付により20億円(310,600株)の自己株式を取得しました。5月には取得した自己株式の全てを含む400,000株の消却を実施しました。

Topic 5 株式分割

当社株式の投資単位を引き下げることで、株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的に、2024年6月30日を基準日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しました。

会社概要

商号 株式会社タムロン  
 創業 1950年11月1日  
 設立 1952年10月27日  
 本社 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地  
 資本金 69億23百万円

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株  
 発行済株式の総数 23,000,000株  
 単元株式数 100株  
 株主数 4,975名 ※単元未満除く

注. 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記株式数は当該株式分割前の数値を記載しております。

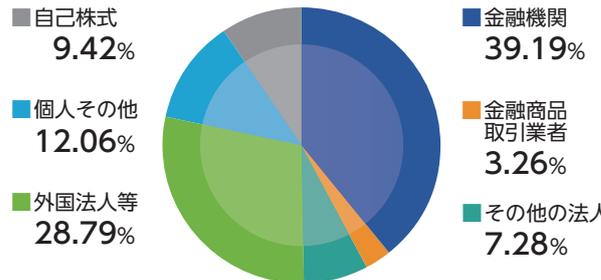
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
ソニーグループ株式会社	3,129	15.02%
Suntera(Cayman)Limited as trustee of ECM Master Fund	2,192	10.52%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,734	8.32%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,349	6.47%
株式会社埼玉りそな銀行	1,002	4.81%
日本生命保険相互会社	670	3.21%
株式会社アルゴグラフィックス	541	2.59%
J P モルガン証券株式会社	485	2.33%
株式会社ナガワ	356	1.71%
タムロン協力会社持株会	262	1.25%

注 1. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式(2,166千株)を控除して算出しております。  
 2. ソニーグループ株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニーグループ株式会社が指図権を留保しております。  
 3. 2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記所有株式数及び持株比率は当該株式分割前の数値を記載しております。

株式所有者別分布

※単元未満除く



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
 定時株主総会 毎年3月  
 基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
 期末配当 毎年12月31日  
 中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
 ※取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 ※ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載を行います。  
 当社ホームページ <https://www.tamron.com/jp/>  
 お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご利用ください。

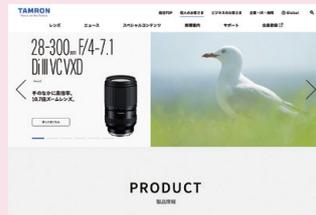
コーポレートサイト

<https://www.tamron.com/jp/>



個人のお客さまサイト(写真用レンズ)

<https://www.tamron.com/jp/consumer/>



ビジネスのお客さまサイト(産業用レンズ)

<https://www.tamron.com/jp/biz/>



ソーシャルメディア 公式アカウント

- X <https://x.com/TamronJP>  
 タムロン製品・サービスに関する最新情報やイベント情報、企業情報など幅広い情報をいち早くお届けします。
- Instagram <https://www.instagram.com/tamronjp/>  
 タムロンレンズで撮影された写真をアップしていきます。ユーザー参加型のイベントの他、#tamronを付けて投稿頂いた写真には積極的にいいねさせて頂きます。

- Facebook <https://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom>  
 写真レンズに関する製品情報の他、最新のHPコンテンツ紹介、フォトコンテストや各種イベント・キャンペーン情報を発信しています。
- YouTube <https://www.youtube.com/user/tamronjp>  
 CSR活動や、タムロンのものづくり、写真家による製品レビューなど、タムロンの取り組みを動画で発信しています。

※表紙の写真は、第16回 タムロン鉄道風景コンテストの一般の部 総合グランプリ作品です。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地  
 TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <https://www.tamron.com/jp/>  
 ■IR情報関連に関するお問い合わせ：経営戦略本部  
 TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282  
 e-mail : kabushiki@tamron.co.jp

